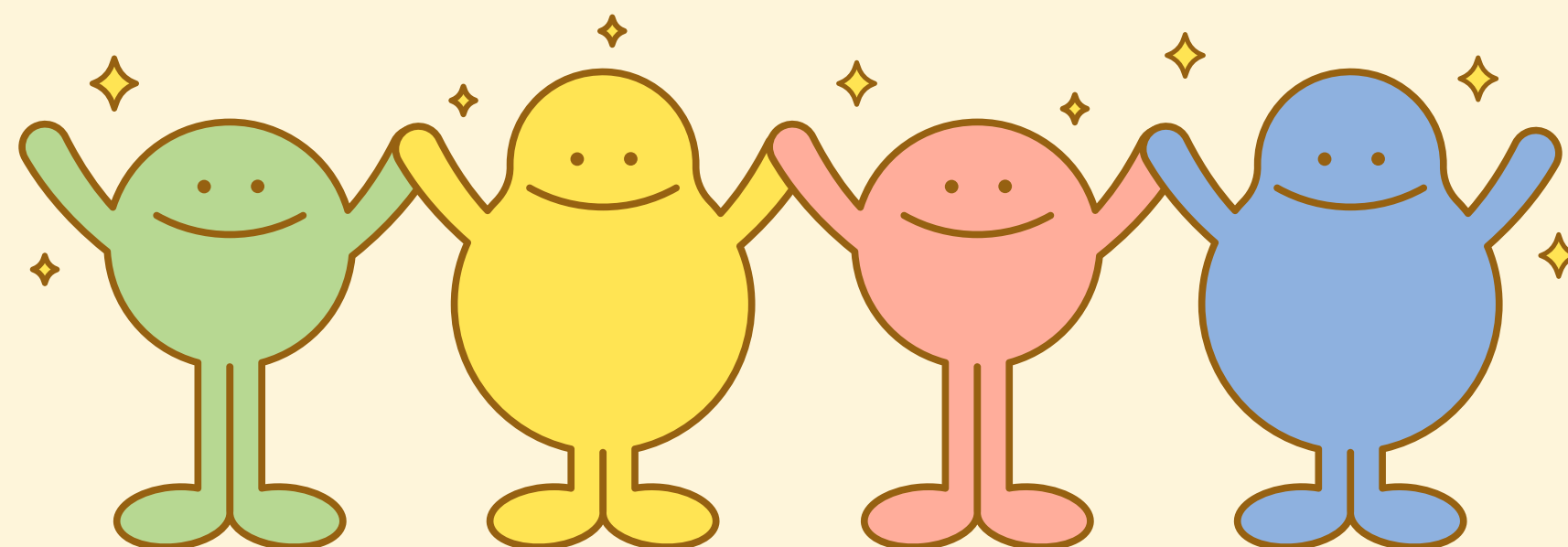


ぐんまこどもアンケート

「^{おし}教えて！^{いけん}あなたの意見」

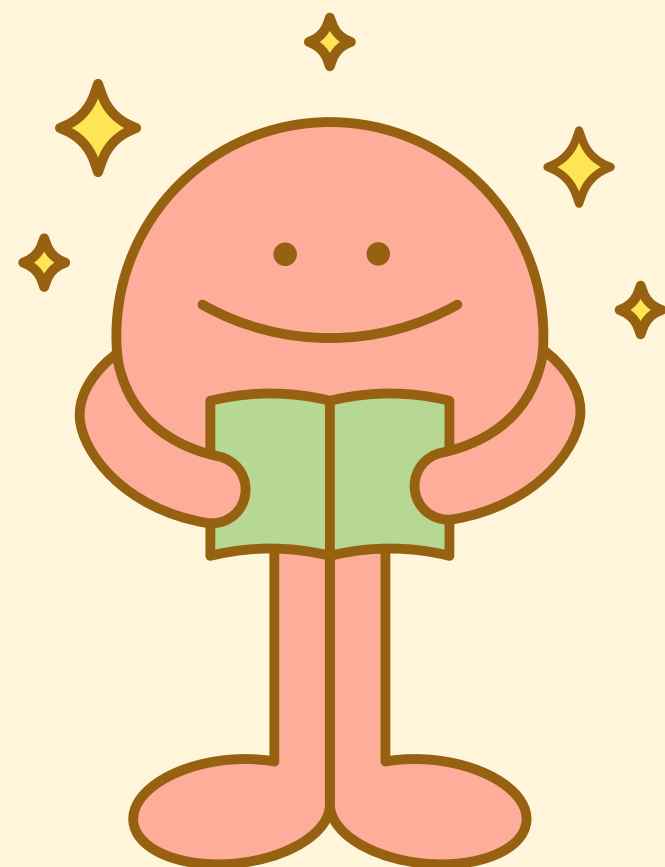
^{ほうこくしょ}
報告書



れいわ ねん がつ ぐんまけんせいかつ か せいさくすいしんしつ
令和7年1月 群馬県生活こども課 政策推進室

ほんじぎょう 本事業の概要

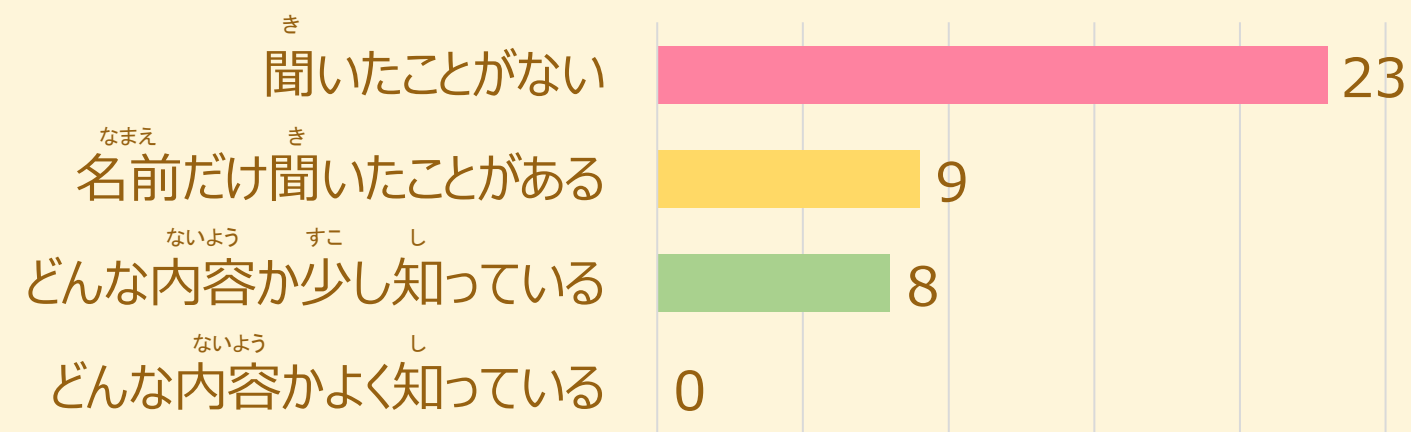
がいよう



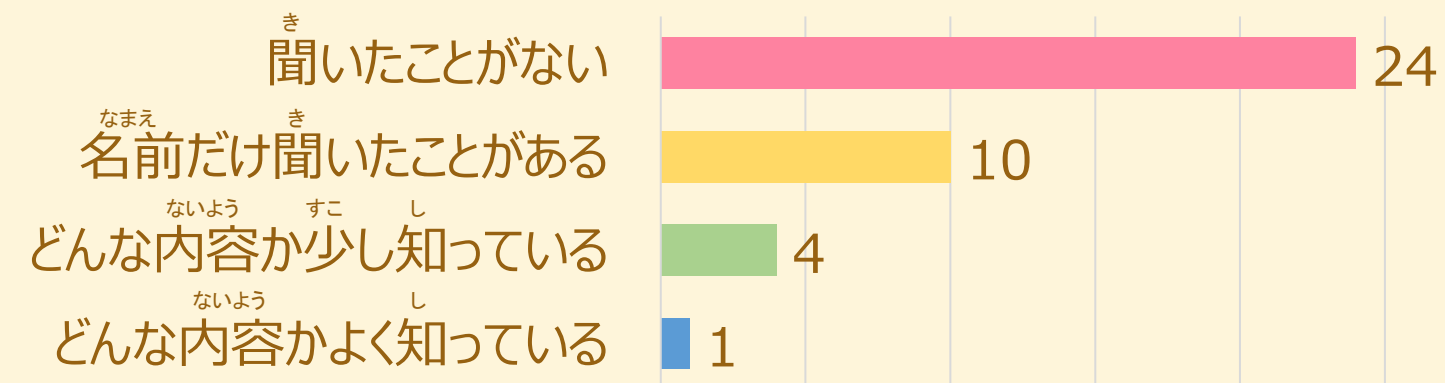
- もくてき
• 目的
とくてい ぶんや とうじしゃ わかもの かんが かつ
特定の分野における当事者（こども・若者）の考え方やニーズを
し けん とりくみ ひょうか こんご さんこう
知り、これまでの県の取組の評価や、今後の参考にとすること
- かいとうしゃ めい
• 回答者（40名）
ふとうこう けいけん わかもの めい
不登校の経験があるこども・若者（9名）
けいざいめん こんなん かん わかもの めい
経済面で困難を感じているこども・若者（12名）
しょうがい いりょうてき ひつよう わかもの めい
障害があったり、医療的ケアを必要としているこども・若者（10名）
がいこく わかもの めい
外国にルーツのあるこども・若者（9名）
- じっしきかん
• 実施期間
れいわ ねん がつ がつ
令和6年11月～12月
- ちょうさしゅほう
• 調査手法
しょうめん
オンラインまたは書面

きょうつうこうもく 共通項目①

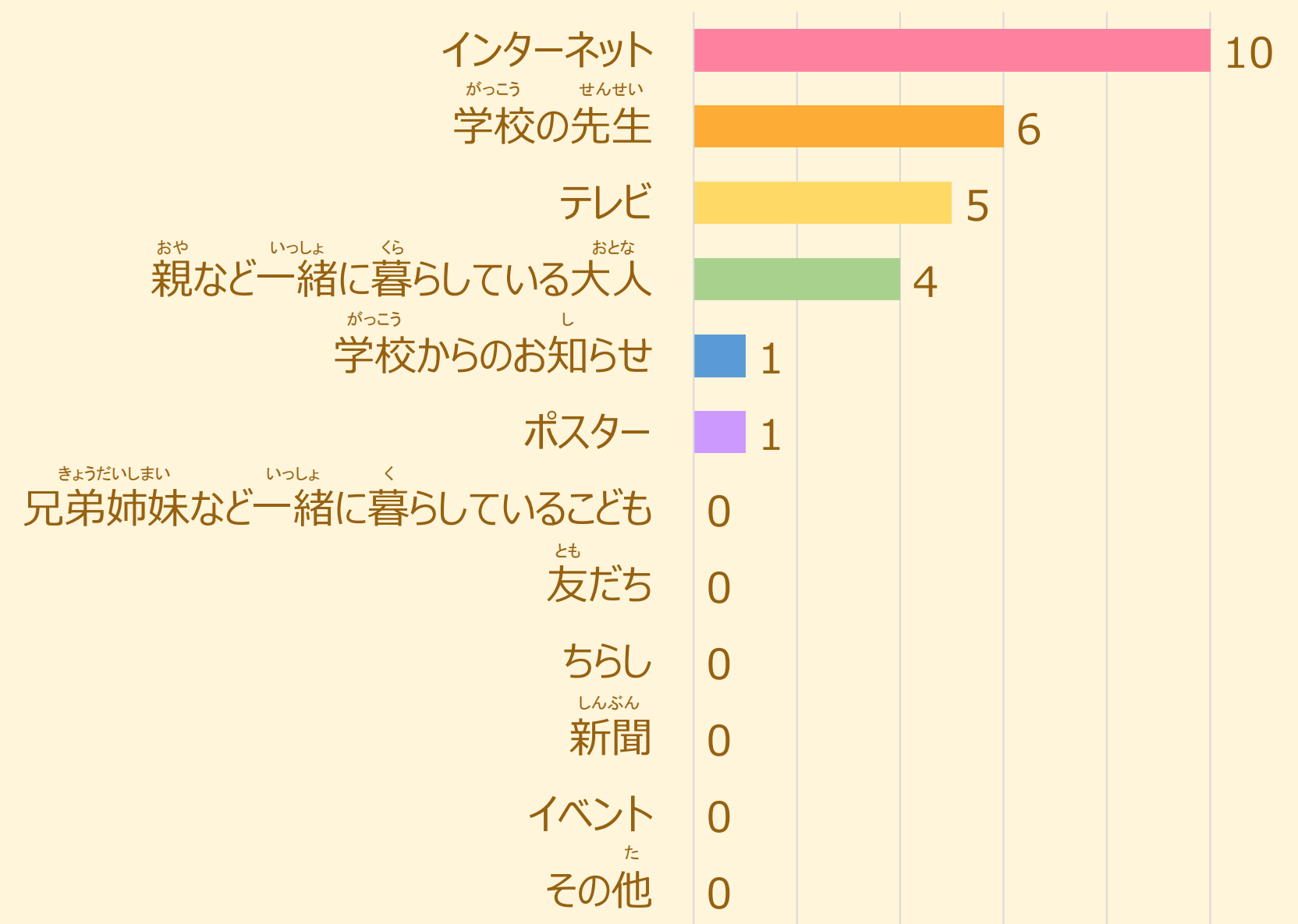
● こどもの権利条約 認知度 けんりじょうやく にんちど ※回答者数：40



● こども基本法 認知度 きほんほう にんちど ※回答者数：39



● こども基本法を知ったきっかけ きほんほう し ※複数回答



きょうつうこうもく 共通項目②

● こどもたちが^{げんき}元気に^{そだ}育つために^{ひつよう}必要なもの

※各^{かくじゅんい}順位において、^{とくひょう}トップの^{こうもく}得票を得た^{しゅうけい}項目を集計
回答者数：40、120票

- 1位 ^い食べ物や^た元気に^{もの}育つための^{げんき}栄養（13票）、^{そだ}自分を^{えいよう}大切に^{ひょう}育ててくれる人（13票）
- 2位 ^い家や^{いえ}安全に^{あんぜん}生活できる^{せいかつ}場所（9票）
- 3位 ^い食べ物や^た元気に^{もの}育つための^{げんき}栄養（7票）

● こども・若者^{わかもの}に「こどもの^{けんり}権利」について^し知ってもらうには？

※1人3つずつ^{せんたく}選択してもらい、^{おお}多かった^{こうもく}項目を^{しゅうけい}集計
回答者数：39、112票

- 1位 ^い学校で^{がっこう}学ぶ（32票）
- 2位 ^いこどもに関わる^{かか}大人が^{おとな}学ぶ^{まな}時間をつくる（24票）
- 3位 ^いS N Sや^{どうが}動画で^よ読んだり、^み見たりする（18票）



きょうつうこうもく 共通項目③

● 周りの大人が、あなたやあなたの考えを大切にしてくれて、「よくわかってもらえた」と思うのはどんなときですか？

いただいた意見（抜粋）

- 自分の話をまず聞いてくれて相談に乗ってもらい、寄り添ってもらうなど、否定から入らない。
- 自分が好きなもの、やりたいことを否定せずに肯定してくれたこと。
- 共感してもらえたり、話に対しての意見交換ができたとき。
- 一緒に考えたりしてくれたとき。
- 自分の意見が耳を傾けられたときや助言してもらったとき。又、丁寧に指導され、気遣い、保護され、助けられたとき。
- どうしようもなく、できないことについて無理を強制されなかったとき。
- 自分がしていることに対して何も言わないで見守ってくれてるとき。
- 周りの大人が、私の成長するための要望を聞き、理解してくれたとき。
- 大人が私の立場に立ち、私の考え、性格、意見を理解したとき。
- 両親に自分の夢を話して理解してもらえたとき。
- 不自由があって支えてもらったとき。
- 責任を持ち始めるとき。
- 自分の成果を見せられたとき。例えば、学校の授業で発表したり、授業の一環で自己主張や話をしたりするときなど。

きょうつうこうもく
共通項目④

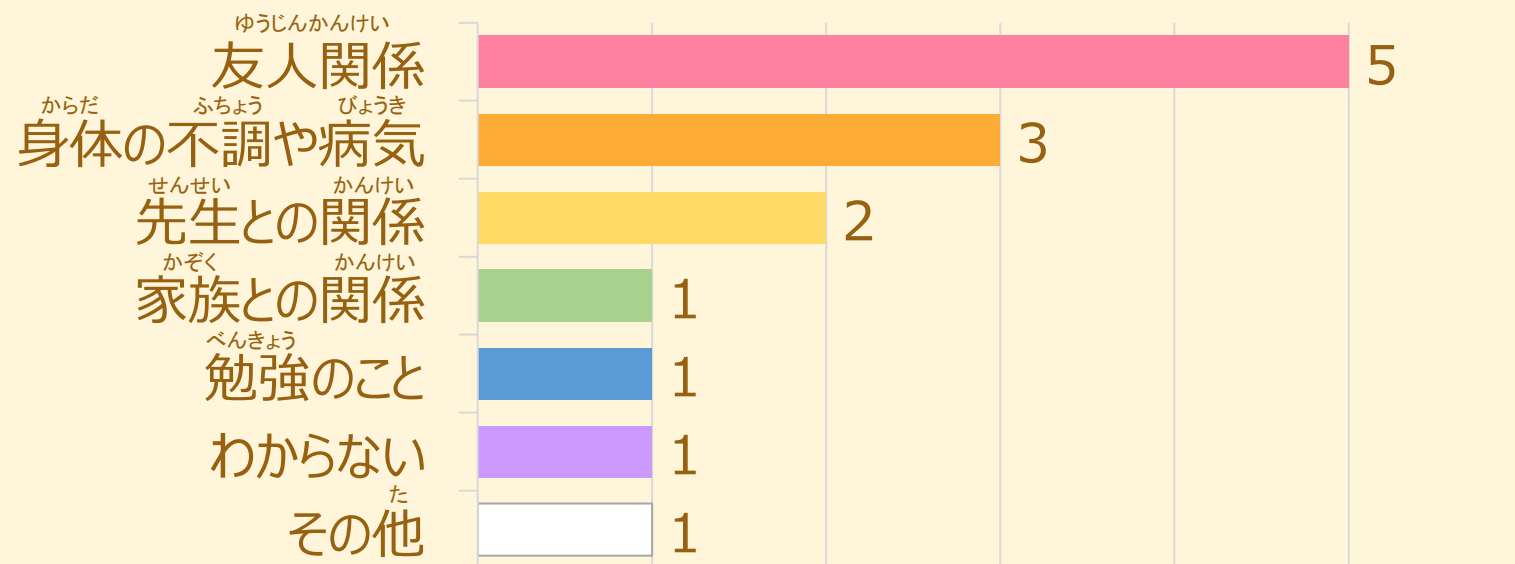
● 反対に、あなたやあなたの考えが大切にされていないと感じたり、「こんなことを言われるとやる気をなくしてしまう」と思うのはどんなときですか？

いただいた意見（抜粋）

- ・ 親と話し合いをしたときに全然理解してくれないとき。
- ・ 自分の考えを否定されたり、あなたはこうだから～など自分の気持ちを理解しないで言われるなど。
- ・ 自分の話を聞かずに一方的に無理とか、否定的な事を言われたとき。
- ・ 無視されたときや冷たくされたとき。
- ・ 説明した後に、どういうこと？って聞かれるとき。
- ・ 軽口で済まされたとき。
- ・ 理解せずにテキトーに言って対処しようとしてきたとき。
- ・ 何度も同じを言うとき。
- ・ つよく言われるとやるきがなくなる。
- ・ 傷つく言葉を言われるとき。
- ・ 辛いことがあったとき、先生や親が話を聞こうとせず、向き合ってくれなかった。
- ・ 頑張れと言われてプレッシャーになり力が入ってしまうとき。
- ・ 私が意見を言うと、大人はこう言います。「あなたはその意見を言える年齢ではない」「こどもが意見を言うのは失礼だ」。

個別項目：不登校の経験がある子ども・若者①

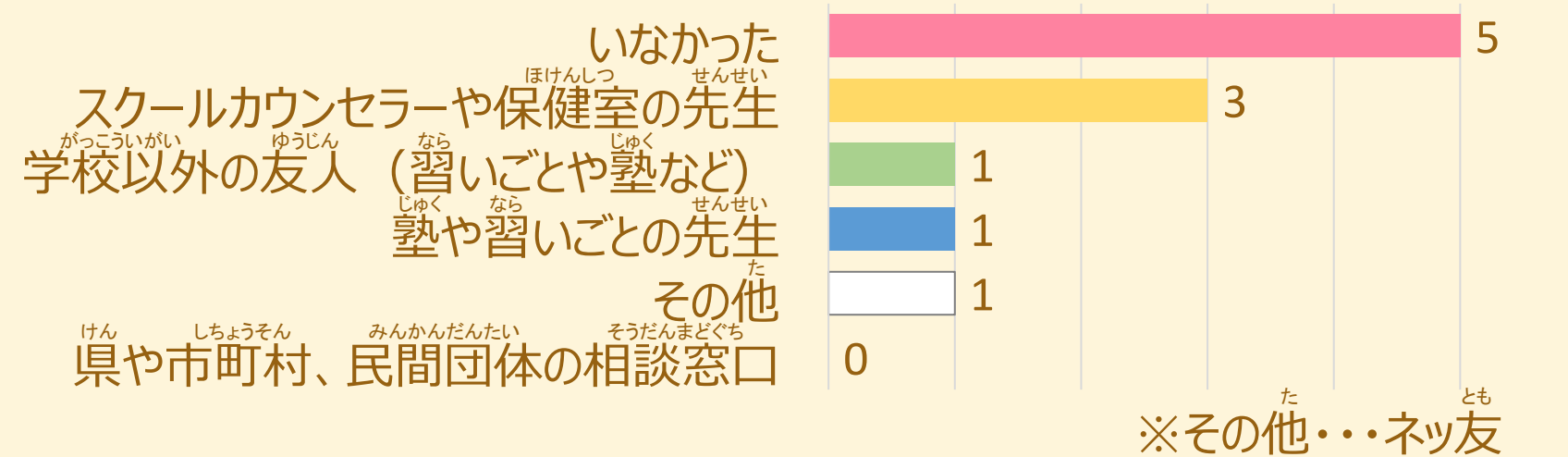
● 学校に行けなくなったきっかけ ※複数回答



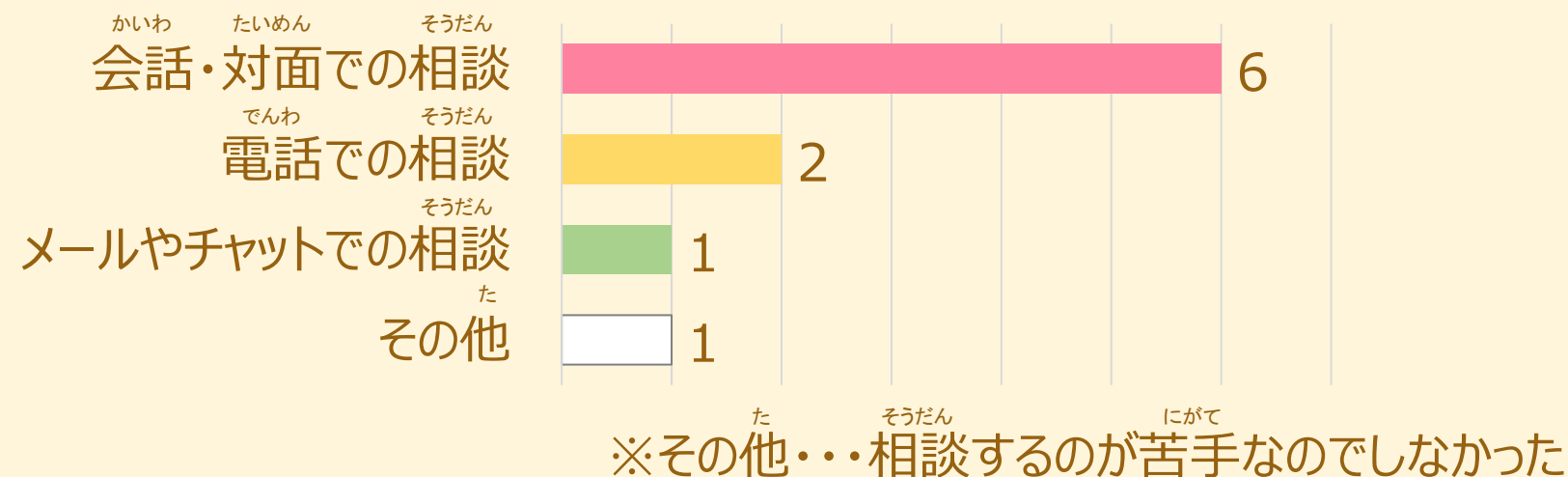
具体的なきっかけ（抜粋）

- ・ 今まで仲が良かった友人に急に無視されてしまった。
- ・ 部活のときに陰口を言われた。
- ・ 体調不良があり起立性低血圧などといったものがあった。
- ・ 朝起きた後、体がすごく重い感じがした。
- ・ 家族が自分の意見を聞いてくれなかったり、暴力などを
使い無理やり言い聞かせてきた。
- ・ 勉強が大変で頑張りすぎていたら心身共に壊れてしまっ
た。

● 学校を休んでいるときに、家族や友人、担任の先生以外で、安心して話せた人、相談に乗ってくれた人 ※複数回答

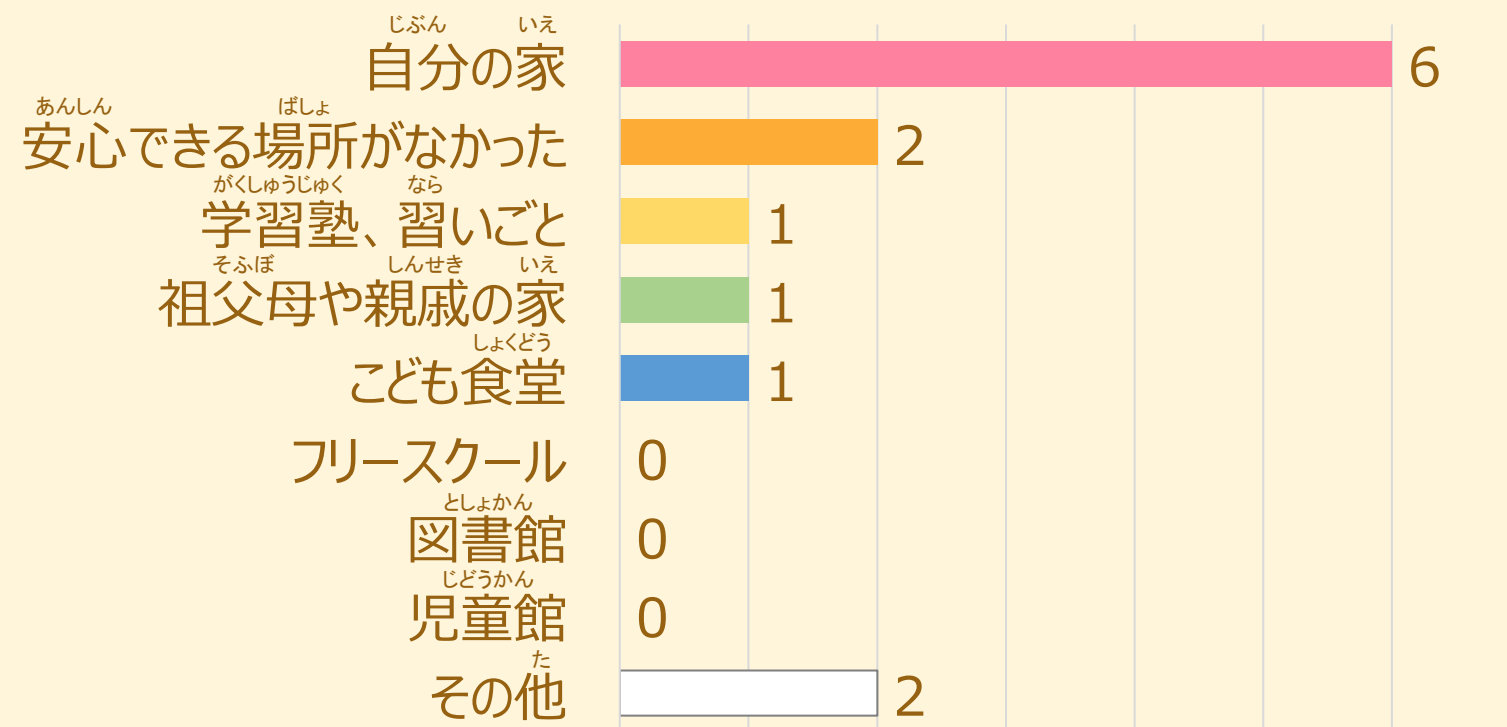


● 相談するときに、どのような方法が自分にあっていましたか。 ※複数回答

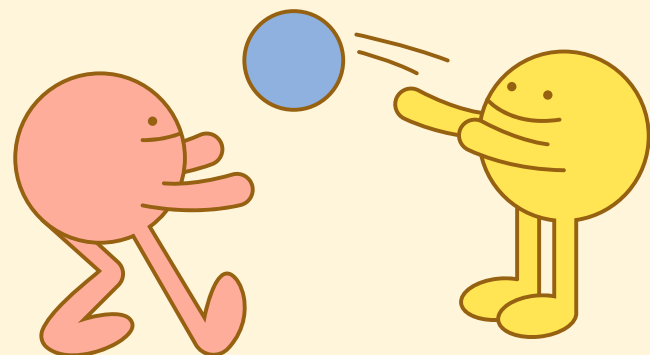


個別項目：不登校の経験がある子ども・若者②

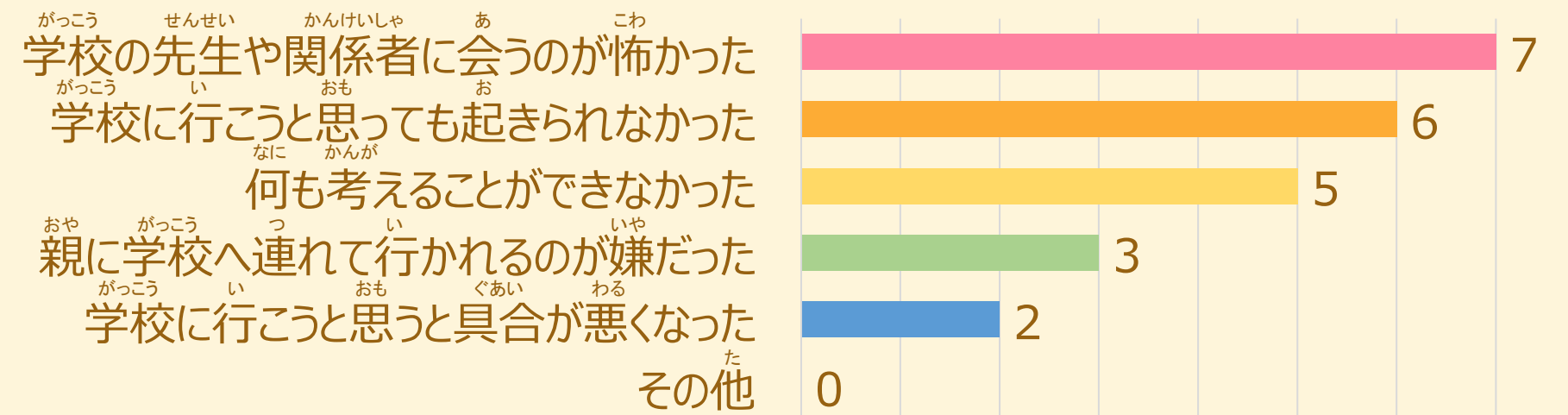
● 学校を休んでいるときに、ホッとできたり緊張せずにいられた、安心できる場所



※その他…カフェ、本屋さん



● 学校に行けなくなったときは、どのような状態でしたか。



そのときの気持ち（抜粋）

- ・ 家にまで学校の先生が迎えにくるのが怖かった。
- ・ 自分が学校に行きたいと思っても体調が悪かったり、なんで自分はこういうことになってしまったんだろう、なんで体調が悪いんだろうといった気持ち。
- ・ 無理矢理教室に入らせようとしたり、学校に行く前に伝えていたことと違うことをされたり、クラスの全員に手紙を書かせ、それを私に渡して来たりと嫌な思いしかありません。

個別項目：不登校の経験がある子ども・若者③

● 一歩動き出すことができたきっかけ（抜粋）

- ・ 学校を卒業して気持ちを入れ替えたことで動けた。
- ・ 引越しをして新しい中学校に行ったことで登校頻度は少し多くなったと思います。
- ・ 高校に入って環境が変わってから。
- ・ 同じ学校だった人が居ないような高校を選んだことで。
- ・ 好きな人ができた。
- ・ 塾（フリースクール）に通うようになったこと。勉強ではなく、ただただ趣味に打ち込み続けて心の余裕を作ったことで勉強にもう一度向き合えた。
- ・ 先生や親から適応指導教室（ふれあい教室）を勧められて、だんだん気持ちが楽になった。
- ・ この先社会に出るとなったとき、今のままではだめだと自分と学校に向き合ったこと。

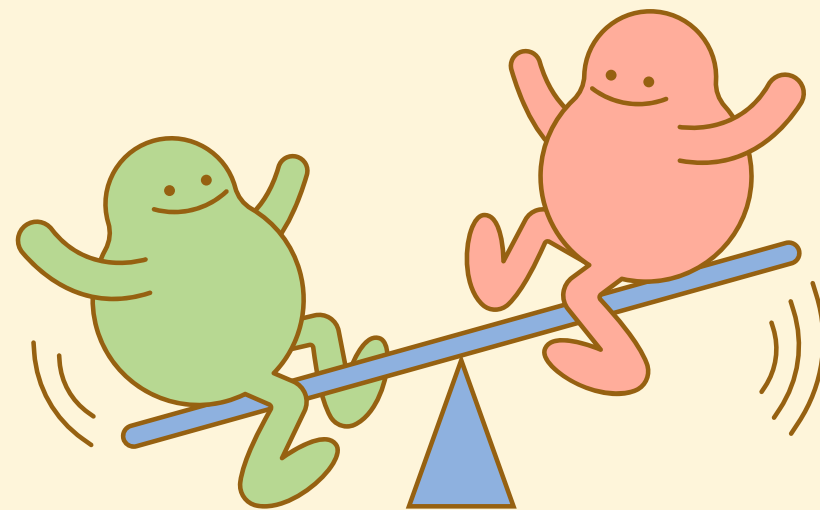
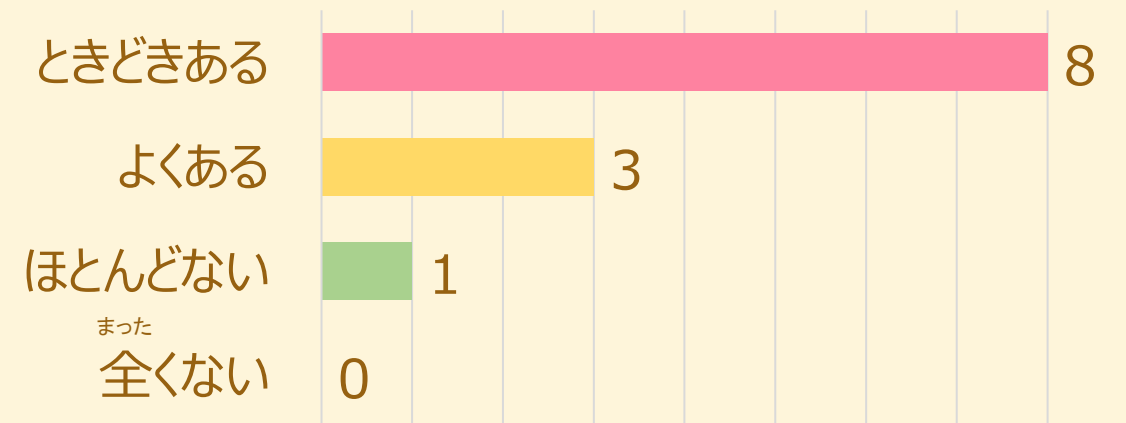
● 今、学校に行けずに悩んでいる子に伝えたいこと（抜粋）

- ・ 環境を変えてみるのが大切だと思います。嫌なことから逃げてもいいときもある。
- ・ 自分を大切にしてくれてる人、サポートしてくれている人に感謝して、少しずつやってみる。今学校に行かなくて悩んでいても、環境などが変わり頑張ろう！と気持ちが変わることもあるから、今自分ができることをコツコツ頑張るといいと思った。
- ・ 仮に今が地獄のような状態だとしても助けてくれる人はあまりいないし、自分から助けを求めないと誰も動いてはくれないので、自分から動くとし少しはこの世界がよく見えると思うので、自分の周りの環境を自分が変えてやるという意識や逆にこの世界の残酷さを受け入れて生きていくしかないと思います。
- ・ 不登校になるということは、決して悪いこととは限らない。

個別項目：経済面で困難を感じている家庭の子ども・若者①

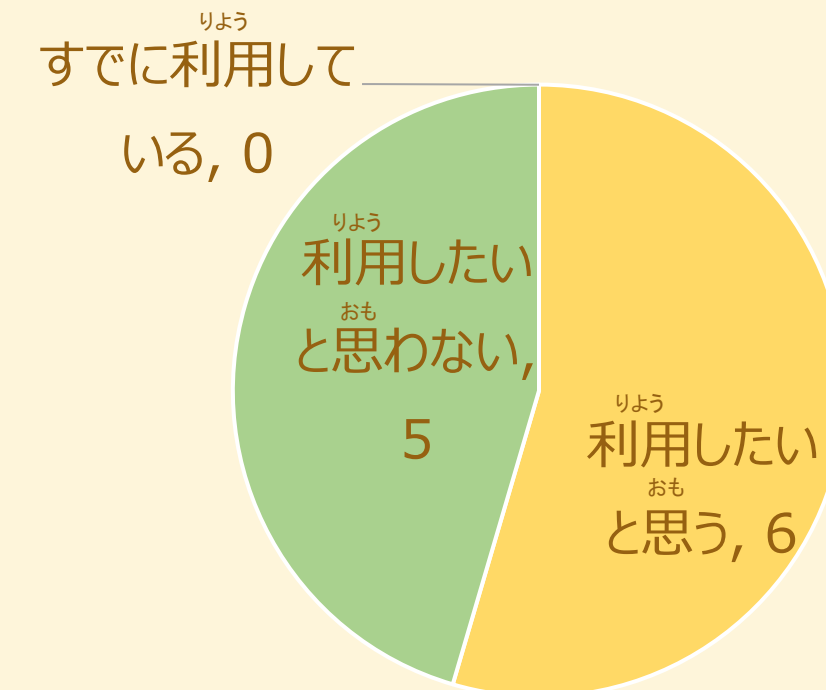
● 学校の授業が分からないとき

※回答者数：12



● 無料または安い金額で勉強を教えてくれる場所があれば、利用してみたいと思いますか。

※回答者数：11



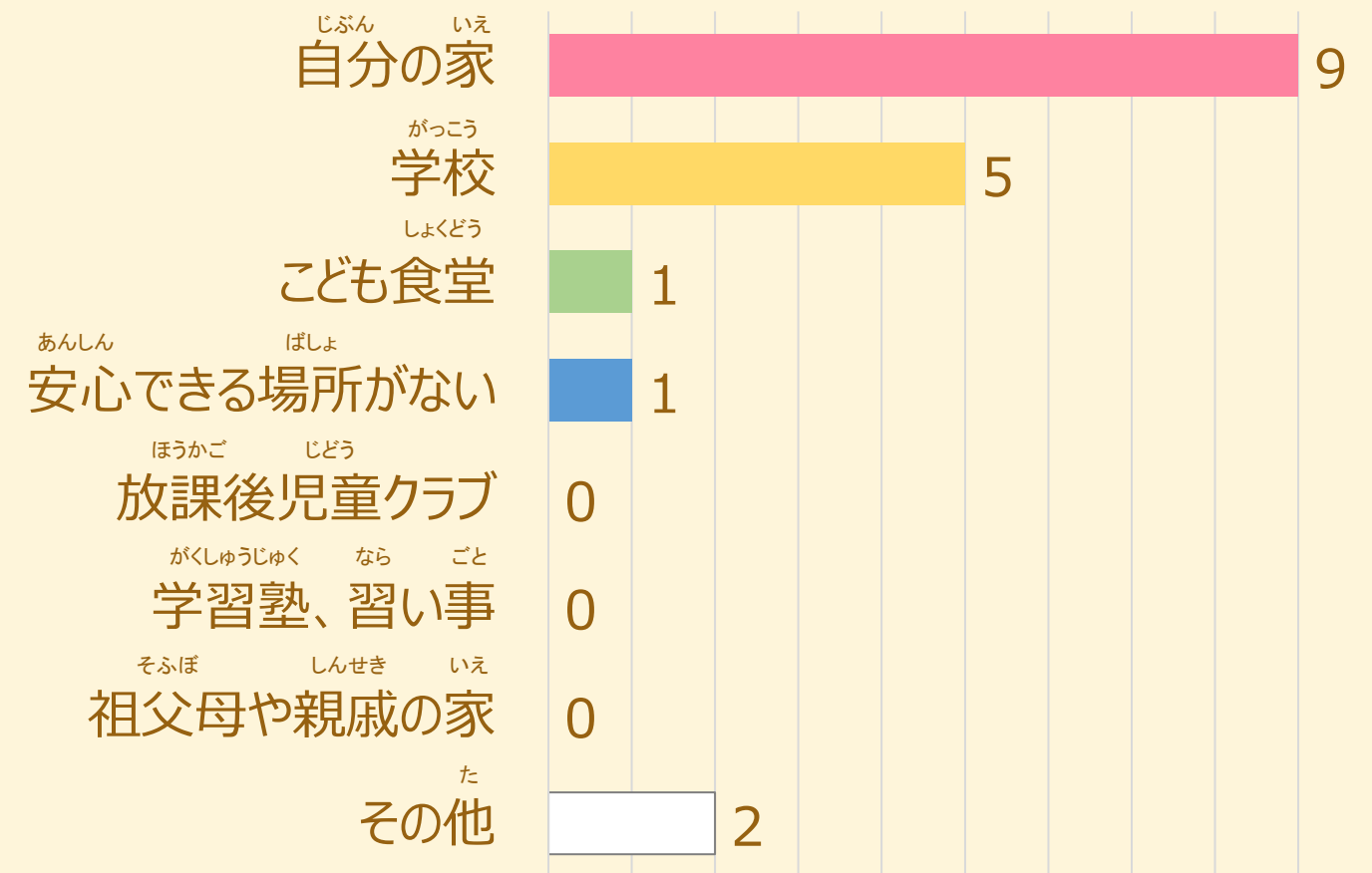
(利用したくない理由)

- 勉強がきらいだから。
- 学校の友達がいるかも分からないし、何も知らない人と同じ空気で勉強するのはいやだからです。
- 平日で利用するとしたら、夜になっちゃうし、休日は部活だからできない。

個別項目：経済面で困難を感じている家庭の子ども・若者②

● ホットできたり緊張せずにいられる、安心できる
場所

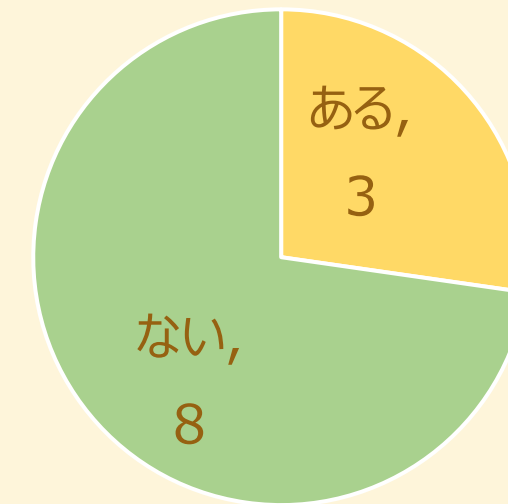
※複数回答



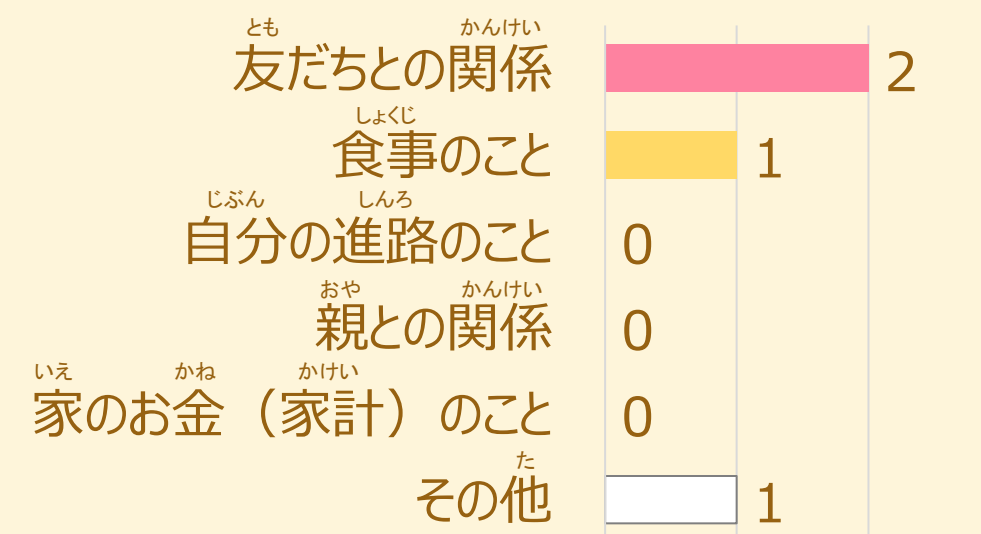
※その他・・・外、友だちの家

● 保護者（親など家にいる大人）に相談できない悩み

※回答者数：11



（悩みの内容）

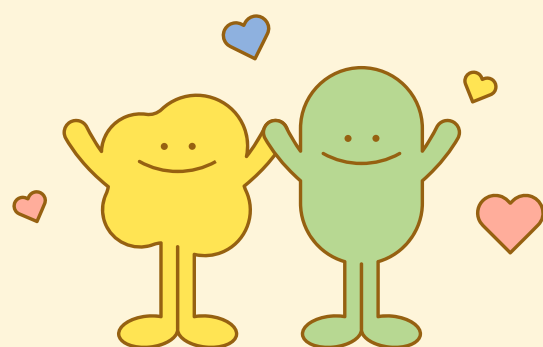
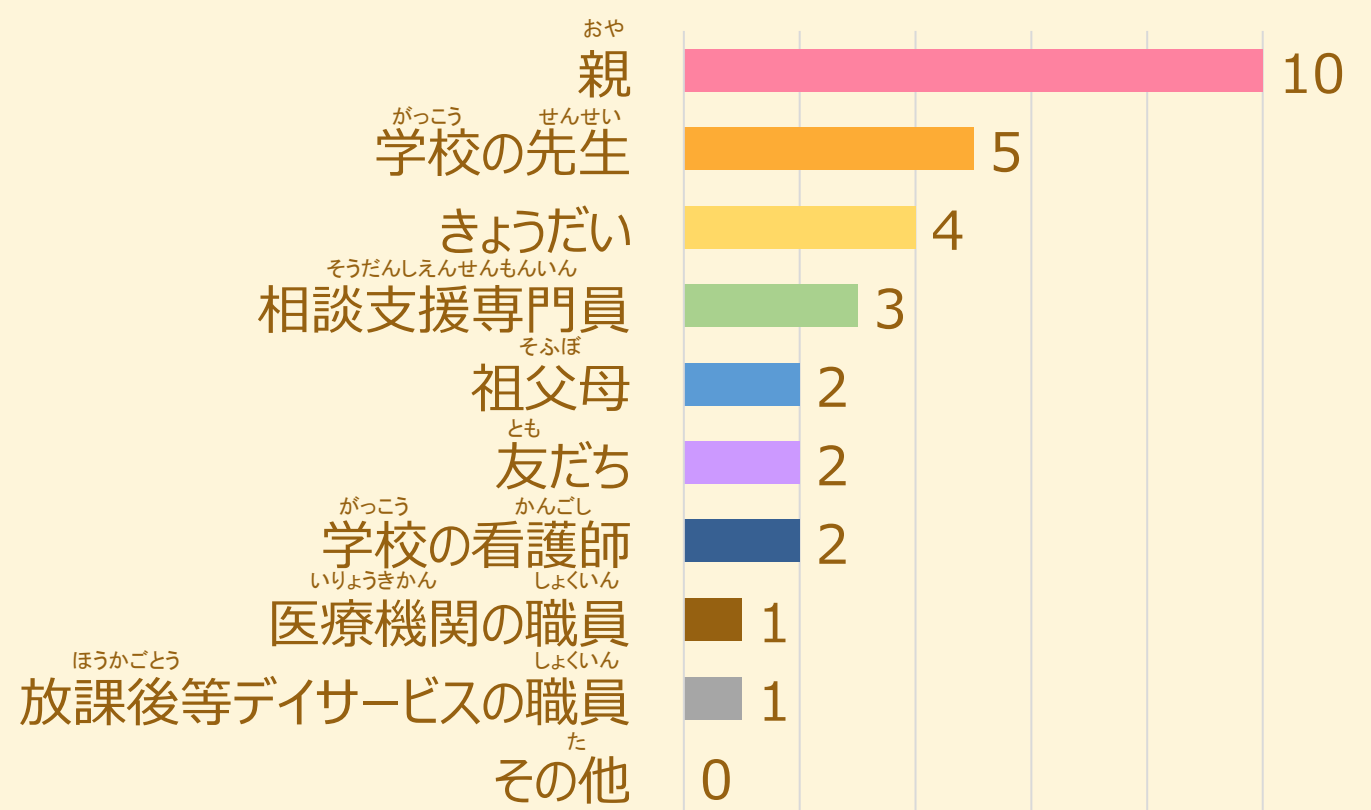


※その他・・・生活のこと

個別項目：障害があったり、医療的ケアを必要としている

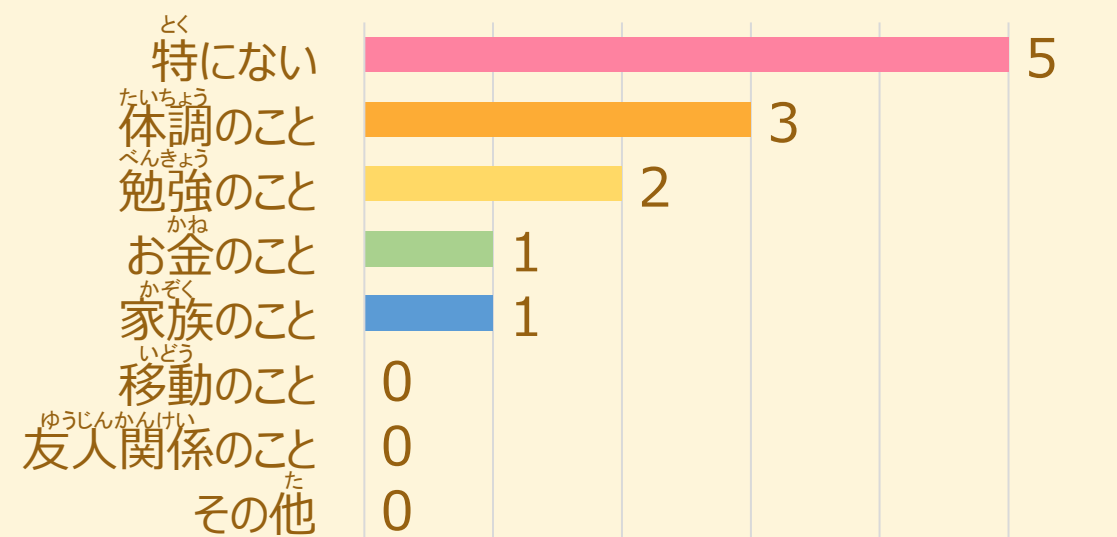
わかもの 子ども・若者①

● 自分の悩みや不安を安心して相談できる人 ※複数回答



いりょうてき ひつよう 医療的ケアを必要としている

● 日常生活で困っていること ※複数回答



具体例（抜粋）

- ・ 体調が不安定になりやすい。
- ・ 勉強した内容を覚えていられない。
- ・ お金の管理が苦手。
- ・ 親が倒れてびっくりした。
- ・ ご飯の支度など、親がいなくなった場合、誰に頼ればいいか。

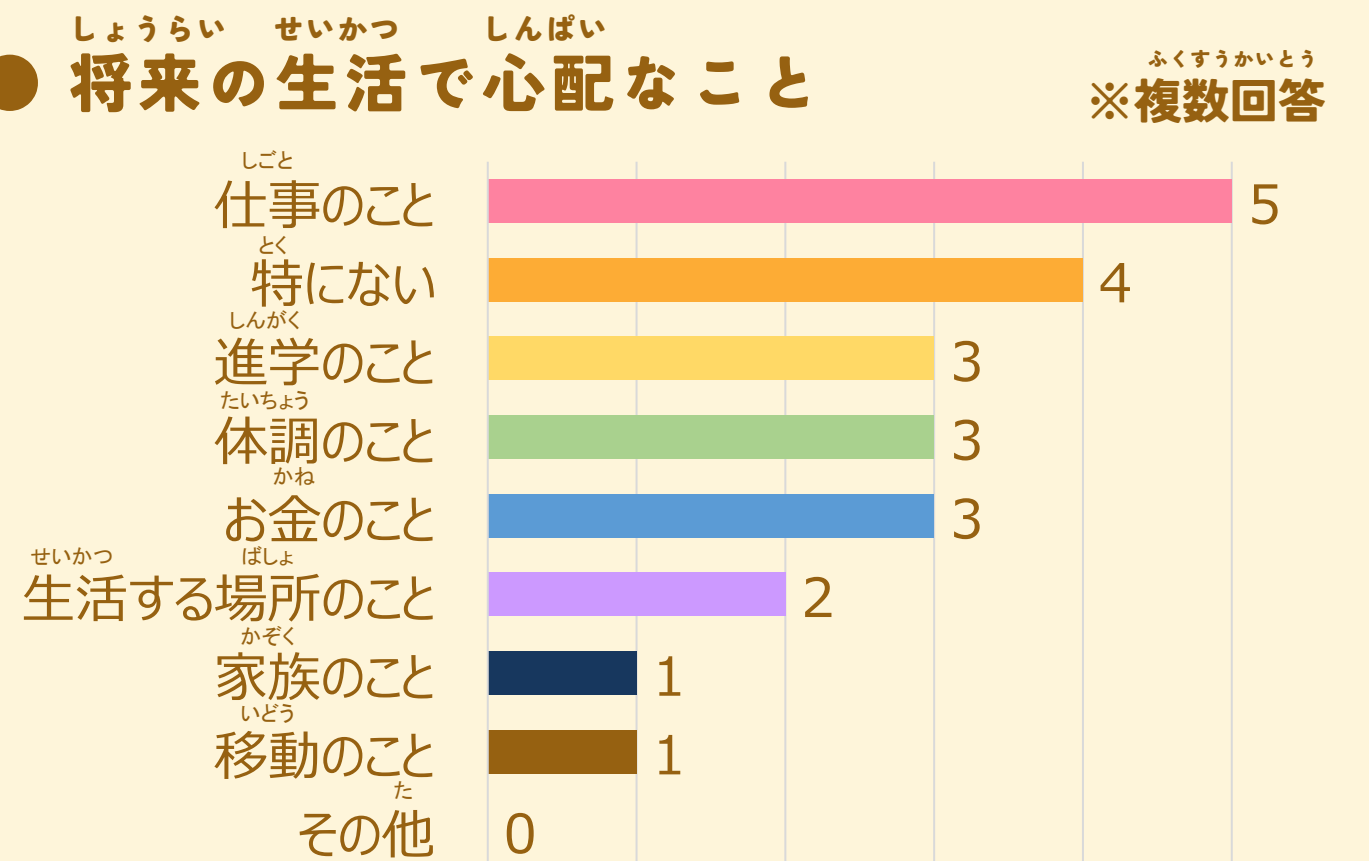
どのような配慮をしてもらいたい（抜粋）

- ・ 悩みがあるときは話を聞いてほしい。
- ・ 安静にしているときに動けないので食事とかの用意をしてほしい。

個別項目：障害があったり、医療的ケアを必要としている

こども・若者②

● 将来の生活で心配なこと



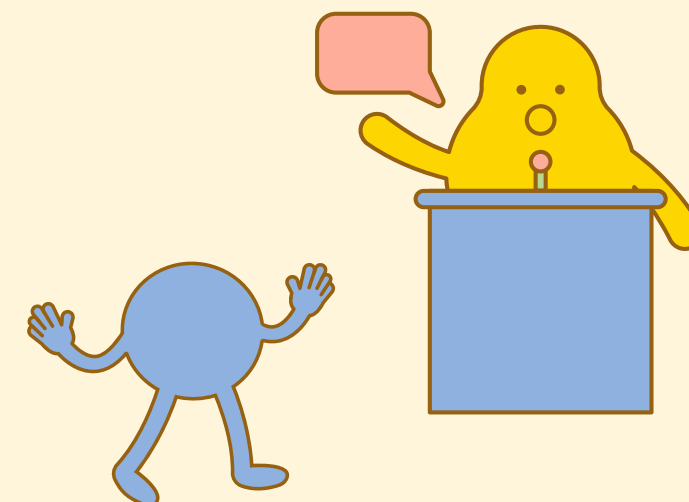
(具体例)

- ちゃんと仕事してお金が稼げるかな？ということ。
- 自分が行きたい大学に行けるかどうか。
- 体調が悪くなり働けなくなったとき。
- 身体障害があり車椅子生活なので、自立できるのか不安。
- バリアフリーの心配やバリアフリースイレの心配。

● 将来の心配ごとに関して、どのような支援があったらよいと思いますか

※自由記述

- 家でできる仕事や食事、掃除の支援。
- 学校の先生や、家族の支援。
- バリアフリー化の支援。
- わからない。



個別項目：外国にルーツのある子ども・若者①

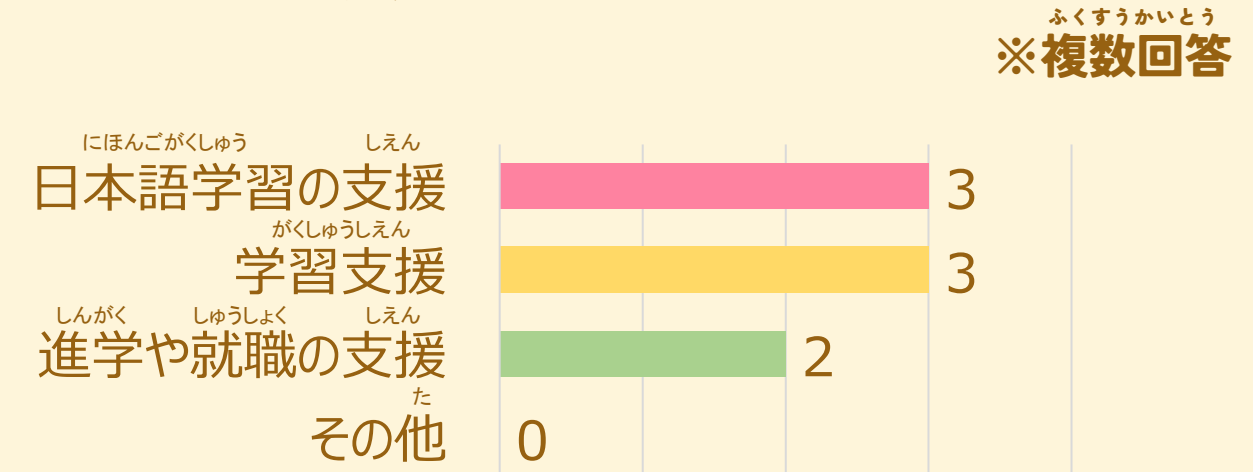
● 学校生活や日常生活を送る上で困っていること ※複数回答



(具体例) ※日本語訳

- 日本語は分かりますが、漢字は苦手です。
- コミュニケーションと漢字。
- 勉強や友達とのコミュニケーションが難しく、皆と良い関係を築くことが難しい。
- 自分の能力が足りないと感じます。家族を援助することができるようにもっと頑張りたい。

● 学校生活や日常生活をより良くする上で、日本語についてどのような支援があるとよいですか。



個別項目：外国にルーツのある子ども・若者②

● 高校に進学するにあたって、自分自身が努力した
と ※日本語訳

- ・ 勉強。
- ・ 日本語を一生懸命勉強し、よく覚えるように繰り返し練習をたくさんしてきました。
- ・ 日本語をたくさん勉強し、試験に向けて問題演習を繰り返し、家で日本語を話す練習をした。
- ・ 授業中にコミュニケーションをとり、先生の講義を理解できるように、日本語の学習に励んでいました。
- ・ 日本語と他の科目をよく学ばなければなりません。
- ・ 中学校の担任の先生の熱心な指導のおかげで、自分に合った高校を探せ、面接の練習も丁寧に行なってくれました。
- ・ 大学に行き、良い仕事に就くために、私は高校に進学しました。

● 高校に進学するにあたって、誰からのどのような助けが力になりましたか。 ※日本語訳

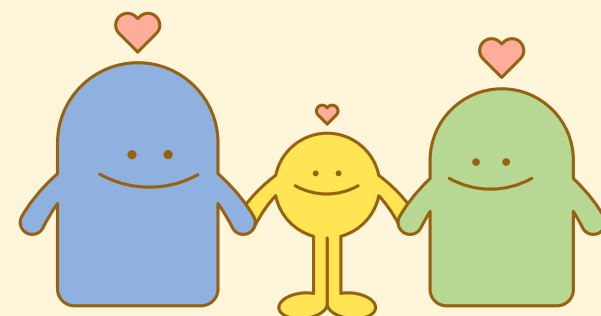
- ・ 中学校の時の先生たち。
- ・ 中学校の先生は、進学先への連絡を助力してくれました。
- ・ 先生からいろいろ教わったり、私が行ける高校を親や先生と一緒に探してくれて、高校に進学することができた。
- ・ 科目担当の先生が分かりやすく教えてくれて、試験前には熱心に指導してくれました。
- ・ 私は先生たちにたくさんの助力をいただきました。私の試験のハードルを下げるために学習資料を見つけるのが難しい私を、先生たちは助けてくれました。また、コミュニケーション面でも友人たちに助けてもらいました。
- ・ 両親に助けてもらいました。
- ・ 家族、友人、先生や周りの人たちから助力を受けました。

個別項目：外国にルーツのある子ども・若者③

●高校に進学するにあたって、苦勞したこと、もっと
こういう支援がほしかったことなど

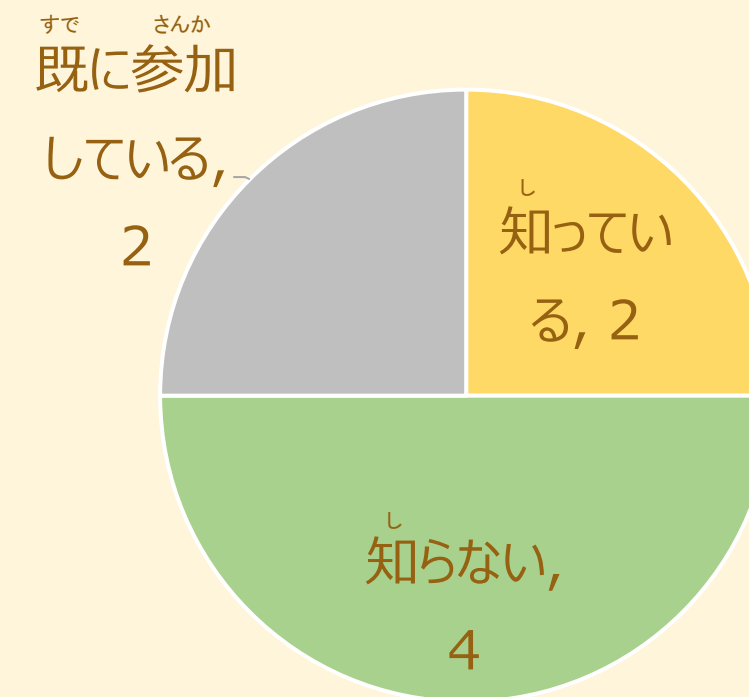
※日本語訳

- 学校でのコミュニケーションが困難で、日本語で学習
するため、それらの科目の内容の理解が難しい。
- 現在、さらに日本語を勉強する必要があると考えてい
ます。
- 大学に行きたかったので高校でも勉強を続けました。
- すべてが順調だと思ったので、何も問題はありません
でした。



●外国にルーツを持つ高校生を対象としたインターン
シップ「Rootsインターン」を知っていますか。

※回答者数：8



群馬県が行うこどもに関連する様々な取組について、 伝えたい意見①

※回答者数：8人

外国語で回答していただいた意見は、日本語訳しています

様々な病気や障害についての理解を全学校に広めてほしい。幅広い理解のある人を1人は設置するなどの対策をしてほしい。下手な理解が生徒だけでなくその保護者も傷つけることがある。また、教育支援施設の啓発やサポートをしてほしい。

高校生まで医療費無料はありがたいです。

もう少し先生がこどもにたいしての言葉を考えてほしいです。

学校でいじめなどを受けたときや、先生方や保護者が話を聞いてくれなかったりよけいにか
叱られてしまったときに、たとえば、こども食堂など親や先生以外に話を聞いてくださる
場所があったら、少しは心が楽になっていたかもしれないです。

ぐんまけん おこな かんれん さまざま とりくみ
群馬県が行うこどもに関連する様々な取組について、
つた いけん
伝えたい意見①

※回答者数：8人
がいくこ かいとう
外国語で回答していただいた意見は、にほんごやく
日本語訳しています

しょうがい ひと い しゃかい ほ
障害のある人にも生きやすい社会になって欲しい

がっこう じかん つく
学校にねる時間を作ってほしい

こうこう ぶ たいかい かいさい とく たいかい ふや
高校の部のeスポーツ大会を開催してほしい。特にefootballの大会をもっと増やしてほしい。
じゅぎょう かつよう
すべての授業でICTを活用してほしい。

がいくこじん にほんじん いっしょ す だんけつ たが たす あ かんきょう つく
外国人と日本人のこどもたちが一緒に過ごし、団結してお互いに助け合える環境を作りたい。



かいとう
ご回答ありがとうございました